

認知症 (滋賀県保健医療計画P162)

目指す姿

誰もが認知症の有無に関わらず、住みたい・住みやすい、やさしい地域で、意思を尊重され、地域の人々と交わりながら、その人らしく安心して暮らし続けている。

取組の方向性

認知症と共に生きる「そなえ」、切れ目ない支援を提供するための「つながり」、認知症の人や家族の意見を反映した実践の「磨き上げ」を推進します。

- (1) 認知症とともに生きるためのそなえの推進と医療的支援の充実
- (2) 地域での日常生活支援、家族支援の強化
- (3) 高齢者の権利擁護の推進

具体的な施策

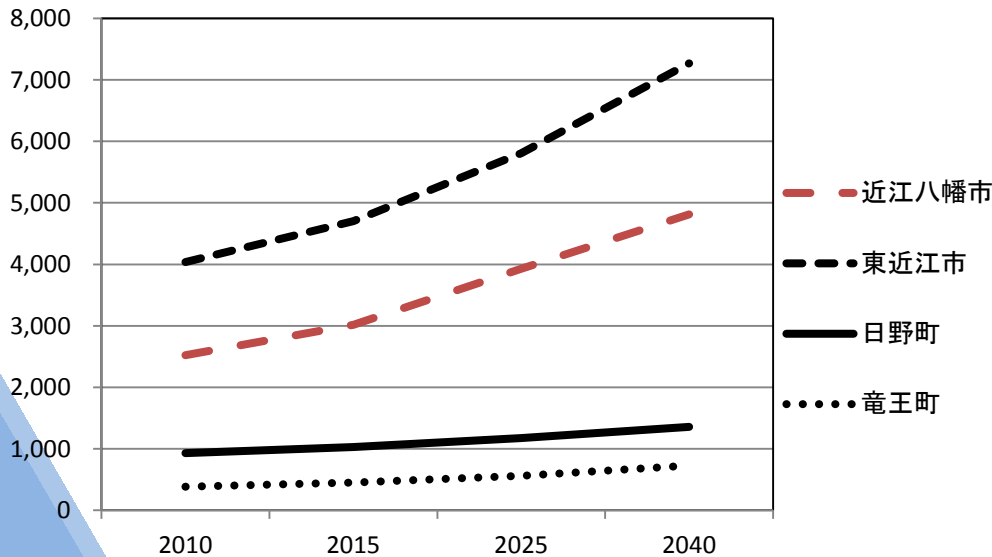
- (1) 認知症とともに生きるためのそなえの推進と医療的支援の充実
 - ア 予防を含む認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
 - イ 早期発見・早期対応ができる体制の充実
 - ウ 本人の状況に応じた医療・介護等の提供
 - エ 若年・軽度認知症施策の推進
- (2) 地域での日常生活支援、家族支援の強化
 - ア 認知症の人と家族を支える地域づくり
 - イ 地域における専門的支援体制の推進
- (3) 高齢者の権利擁護
 - ア 高齢者虐待の防止
 - イ 身体拘束廃止
 - ウ 成年後見制度の利用促進

認知症高齢者の推移

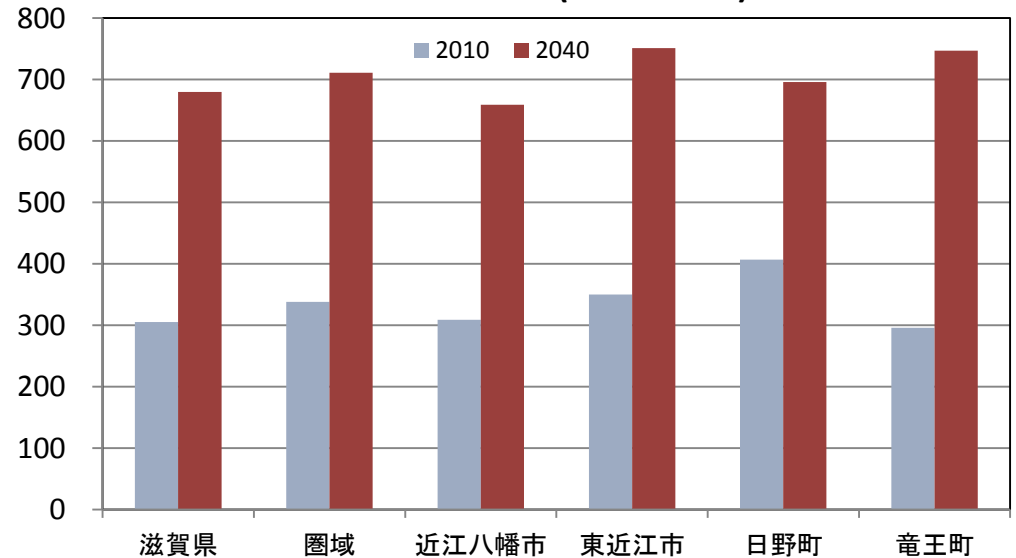
75歳以上は1.89倍,75歳以下では1.11倍

	総数				人口1万対		75歳以上増加率	75歳以下増加率
	2010	2015	2025	2040	2010	2040	2040	2040
滋賀県	43,031	52,078	69,072	89,040	305	680	2.19	1,25
圏域	7,876	9,201	11,470	14,162	338	711	1.89	1.11
近江八幡市	2,524	3,015	3,926	4,811	309	659	2.04	1.08
東近江市	4,039	4,704	5,808	7,267	350	751	1.89	1.15
日野町	931	1,030	1,174	1,356	407	696	1.50	1.06
竜王町	382	452	562	728	296	747	2.02	1.01

認知症高齢者の推移



認知症高齢者(人口1万対)



認知症高齢者の居場所別内訳

(2010年時点)

(単位：万人)

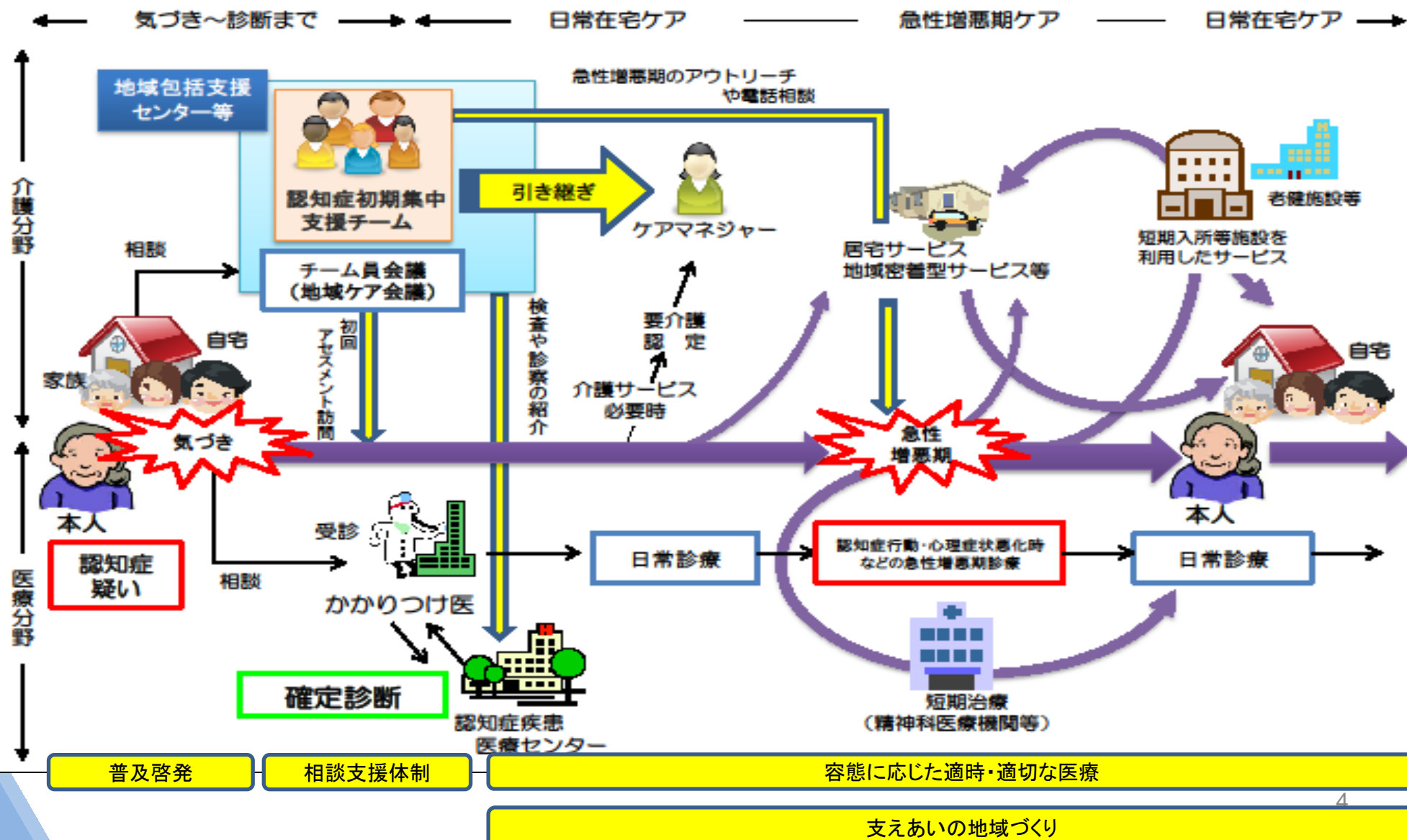
	居宅	特定施設	グループホーム	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設等	医療機関	合計
認知症高齢者の 日常生活自立度 Ⅱ以上	140	10	14	41	36	38	280

※端数処理の関係により合計は一致しない。

※介護老人保健施設等には、介護療養型医療施設が含まれている。

標準的な認知症ケアパスの概念図

～ 住み慣れた地域で暮らし続けるために ～



東近江圏域
における

普及啓発

【病院】

- 病院スタッフによる出前講座：健診の必要性や物忘れ外来の案内等
- 東近江市健康フェアでのブース設置

【関連団体】

- 啓発パンフレットの配布
- 自治会への認知症に関する出前講座

【行政】

- キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座の開催（市民、企業、中学校）
- 若年性認知症に関する市民向け研修会の開催
- 図書館や保健センターのイベントに参加し、タッチパネル体験を実施
- 物忘れ相談室の開催

東近江圏域 における

相談支援体制

【病院】

- 認知症疾患医療センターでの相談対応
- 病院内に相談窓口や物忘れ外来を設置
- 地域包括支援センターや認知症疾患医療センター、ケアマネとの連携

【関連団体】

- 在宅歯科医療連携室の設置
- BPSDのある患者等の相談を受けた時に、認知症疾患医療センターの受診勧奨

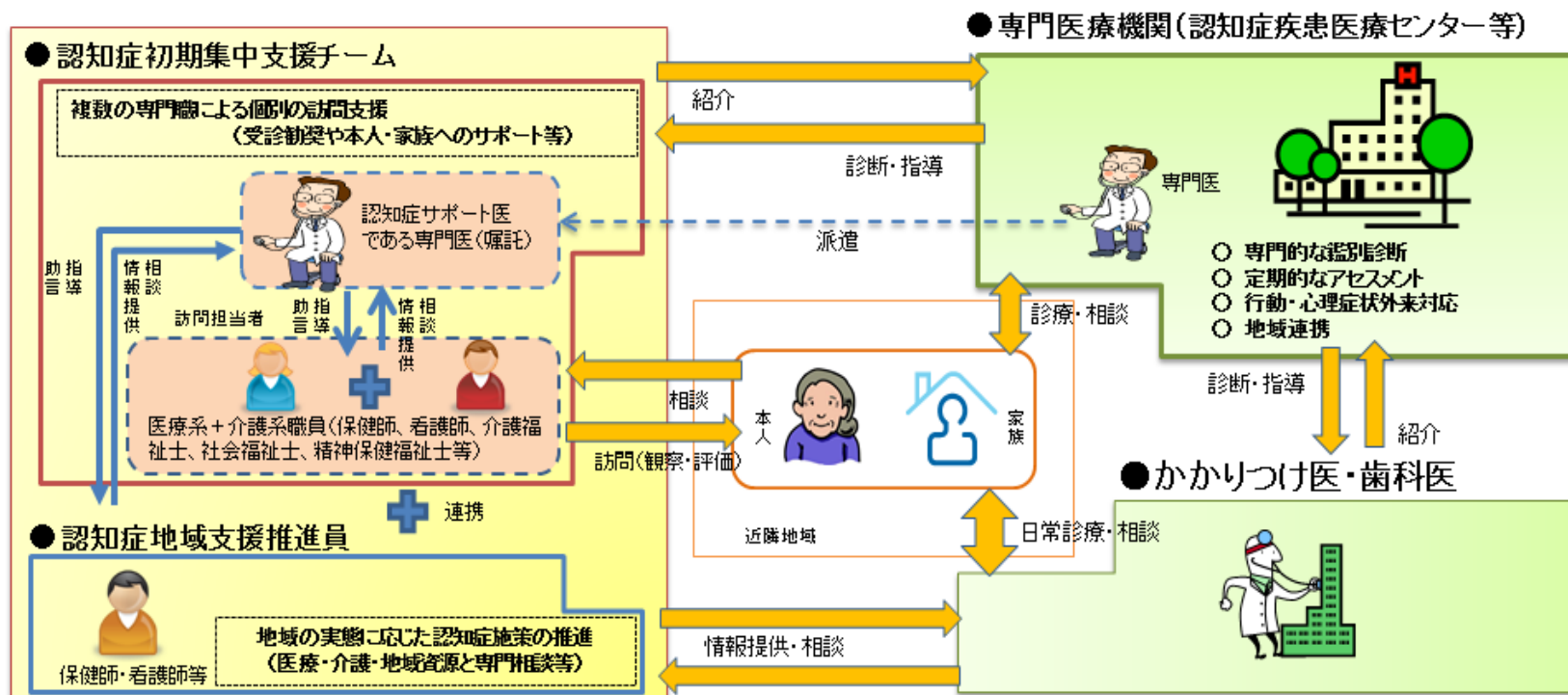
【行政】

- 認知症初期集中支援チームの活動
- 認知症ケアパスの作成、普及活用の推進
- なんでも相談会や実態把握調査時に相談対応

早期診断・早期対応のための体制整備<認知症初期集中支援チームの設置>

- 早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療・介護等が受けられる初期の対応体制が構築されるよう、認知症初期集中支援チームの設置を推進。

このほか、早期診断の際に地域の当事者組織の連絡先を紹介するなど、地域の実情に応じ、認知症の人やその家族の視点に立った取組を推進。【厚生労働省】



【事業名】 認知症初期集中支援推進事業

【実績と目標値】 2016(平成28)年度末 703市町村
 ⇒ 2020(平成32)年度 (目標) 好事例の横展開等
 により効果的な取り組みを推進

**管内2市2町で
設置**

東近江圏域 における

容態に応じた適時適切な医療・介護の提供

【病院】

- 院内スタッフへの研修会実施や認知症看護に関する研修への参加
- 急性増悪時の緊急受診や入院の受入れ
- 確定診断と継続的な通院治療
- 退院支援として在宅の関係機関との連携

確定診断

急性期・増悪期ケア

【関係団体】

- 家族にも治療方針等を説明
- 認知症に特化したサービスや訪看訪リハの提案

日常在宅ケア

【行政】

- 認知症相談医や認知症サポート医の情報提供
- 地域ケア会議での検討
- 子三方よしでの情報共有と検討

支援者の力量形成

滋賀県における認知症疾患医療センターの状況

1. 目的

保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療に関する対応、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行うことにより、地域において認知症に対して**進行予防から地域生活の維持まで必要となる医療を提供できる機能体制の構築を図ることを目的とする。**

2. 認知症疾患医療センターの主な業務

①相談窓口業務

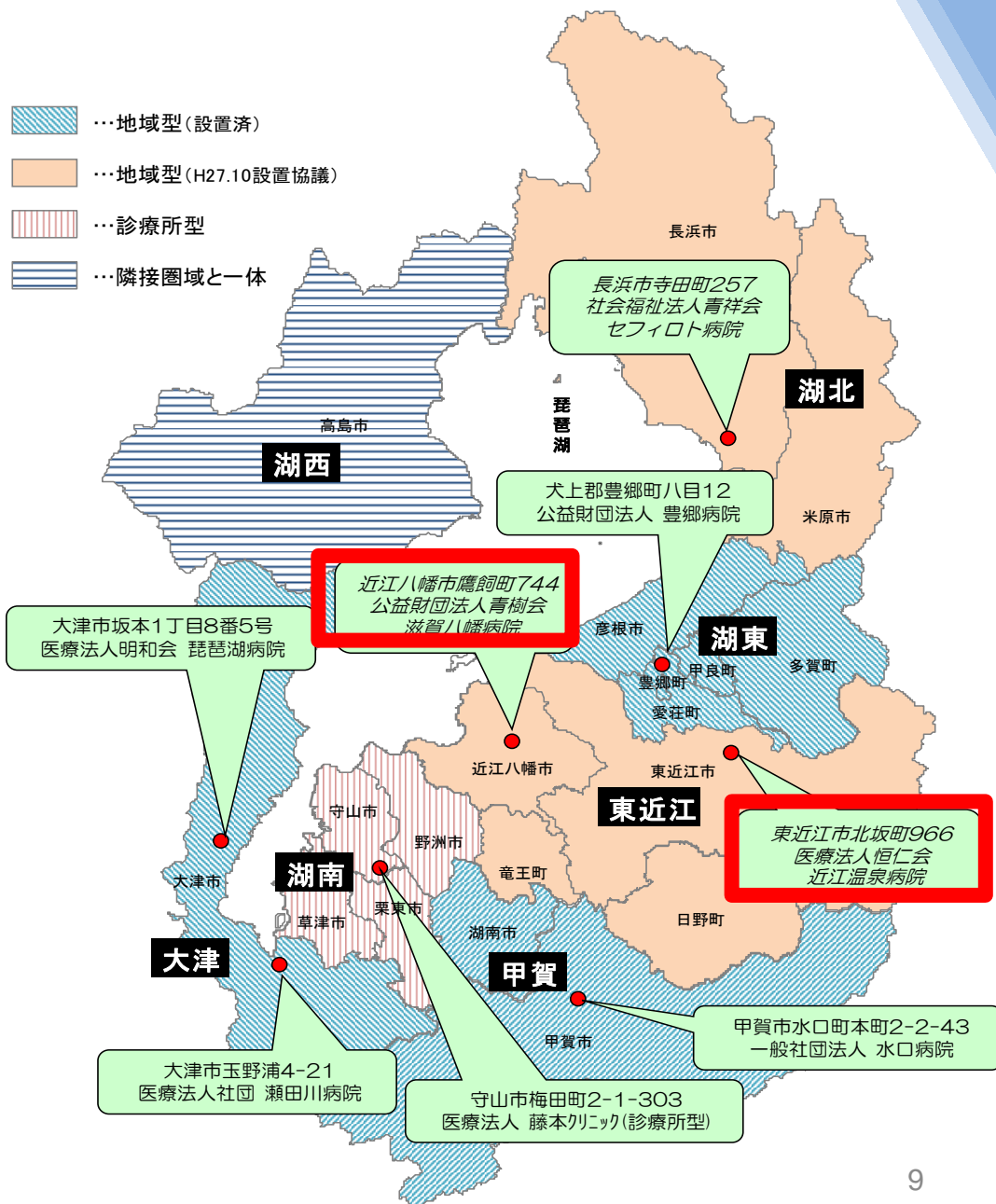
ご本人やご家族をはじめ、保健医療・福祉関係者等の認知症の人にかかわる方からの電話や面談等による相談。

②認知症にかかる専門医療

認知症にかかる専門医療機関として、認知症の原因となる疾患やその症状に対する専門医による診断や治療。

③地域連携

地域の認知症医療従事者に対する研修や、地域包括支援センター等の関係機関、地域住民を対象とする研修の開催や協力等による地域連携の推進。



認知症疾患医療センターの対応状況

外来および鑑別診断件数(延べ)

	H28年度	H29年度
滋賀八幡病院		
外来件数	373	548
うち鑑別診断件数	21	7

専門相談経路: 紹介元(実件数)

滋賀八幡病院	内科 診療所	精神科 診療所	病院	保健所	市町	包括	居宅介護 事業所	他施設	家族	その他
H28年度	11	3	27	0	4	16	27	35	60	8
H29年度	20	2	38	1	5	26	32	31	102	7

	H28年度	H29年度
近江温泉病院		
外来件数	482	448
うち鑑別診断件数	60	77

近江温泉病院	内科 診療所	精神科 診療所	病院	保健所	市町	包括	居宅介護 事業所	他施設	家族	その他
H28年度	26	2	9	1	4	5	22	15	44	10
H29年度	19	0	4	0	5	5	16	17	63	10

専門医療相談件数

		H28年度	H29年度
滋賀八幡病院			
	電話(延べ)	186(274)	253(416)
	面接(延べ)	5(13)	11(68)

診断名(実件数)

滋賀八幡病院	アルツハイマー型	脳血管性	レビー小体型	前頭側頭型	その他の認知症	認知症以外	未確定
H28年度	31	6	0	2	30	26	1
H29年度	51	8	6	0	32	27	0

		H28年度	H29年度
近江温泉病院			
	電話(延べ)	467	513
	面接(延べ)	28	34

近江温泉病院	アルツハイマー型	脳血管性	レビー小体型	前頭側頭型	その他の認知症	認知症以外	未確定
H28年度	59	1	1	1	9	11	15
H29年度	62	4	0	0	12	12	2

東近江圏域 における

支えあいの地域づくり

【病院】

- 町づくり協議会と連携して講演会を実施
- 院内スタッフがキャラバンメイトとして活動(小中学校での講義)
- 地域のふれあいサロンや自治会で認知症研修を実施

【関係団体】

- 地域社協のボランティア活動普及の会議で支援について紹介

【行政】

- 認知症カフェの開催
- ボランティアの人材育成
- 見守りSOSネットワーク
- GPSやQRコードを使った徘徊高齢者位置情報提供サービス利用助成
- 認知症に関する相談先等を記載した情報誌を作成
- 地域住民との協働による支えあいマップの作成

認知症カフェ＜認知症の人の介護者の負担軽減＞＜介護者たる家族等への支援＞

- 認知症の人の介護者の負担を軽減するため、認知症初期集中支援チーム等による早期診断・早期対応を行うほか、認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置を推進。
- また、家族向けの認知症介護教室等の取組について、好事例を収集して全国に紹介し、その普及を進める。【厚生労働省】

認知症カフェの様子



- 1～2回／月程度の頻度で開催(2時間程度／回)
- 通所介護施設や公民館の空き時間を活用
- 活動内容は、特別なプログラムは用意されていなく、利用者が主体的に活動。
- 効果
 - ・認知症の人 → 自ら活動し、楽しめる場所
 - ・家族 → わかり合える人と出会う場所
 - ・専門職 → 人としてふれあえる場所(認知症の人の体調の把握が可能)
 - ・地域住民 → つながりの再構築の場所(住民同士としての交流の場や、認知症に対する理解を深める場)

【事業名】 認知症地域支援・ケア向上推進事業
【目標値】 2013(平成25)年度 国の財政支援を開始
⇒ 2020(平成32)年度～すべての市町村に配置

管内2市2町で
実施

認知症サポーターの養成と活動の支援

- 地域や職域で認知症サポーターの養成を進めるとともに、活動の任意性は維持しつつ、養成された認知症サポーターが認知症高齢者等にやさしい地域づくりを加速するために様々な場面で活躍してもらえるようにする。【厚生労働省】

(認知症サポーター)

- 認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対してできる範囲での手助けをする人

今年度竜王町防災センターで実施され、圏域で54名が受講

- キャラバンメイト養成研修
実施主体：都道府県、市町村、全国的な職域団体等
目的：地域、職域における「認知症サポーター養成講座」の講師役である「キャラバンメイト」を養成
内容：認知症の基礎知識等のほか、サポーター養成講座の展開方法、対象別の企画手法、カリキュラム等をグループワークで学ぶ。



- 認知症サポーター養成講座
実施主体：都道府県、市町村、職域団体等
対象者：
〈住民〉自治会、老人クラブ、民生委員、家族会、防災・防犯組織等
〈職域〉企業、銀行等金融機関、消防、警察、スーパーマーケット
コンビニエンスストア、宅配業、公共交通機関等
〈学校〉小中高等学校、教職員、PTA等



【実績と目標値】

サポーター人数：平成28年度末実績 880万人⇒ 2020(平成32)年度末 1,200万人

認知症 (滋賀県保健医療計画P168)

目標項目	現状値	目標値 (H35)	東近江圏域の状況
認知症疾患医療センター 指定数	8 か所 (H29)	各二次保健医療圏域 に1か所以上	2 か所 (H31.2)
認知症相談医数	367 人 (H28)	430 人	66 人 (H30.3)
認知症サポート医数	105 人 (H28)	195 人	16 人 (H30.3)
若年・軽度認知症支援者 の見える化に取り組む事 業所数	4 か所 (H28)	19 か所	1 か所 (H31.2)